平成２１年度　事　業　報　告

【　雇用支援協会運営費事業　】

事　業　項　目	実　施　状　況
１　総会、理事会	(1)通常総会 ・日　時　　平成 21 年 5 月 20 日（水）13:30～ ・場　所　　ホテル　セントヒル長崎（長崎市筑後町 4-10） ・議　事　　平成 20 年度事業報告及び収支決算承認の件 平成 21 年度事業計画(案)及び収支予算(案)承認の件 役員の選任（案）に関する件 ・出席者　　５５７名（委任状提出者を含む） (2)理事会 ・日　時　　平成 21 年 5 月 20 日（水）11:30～ ・場　所　　ホテル　セントヒル長崎（長崎市筑後町 4-10） ・議　事　　平成 20 年度事業報告及び収支決算承認の件 平成 21 年度事業計画(案)及び収支予算(案)承認の件 役員の選任（案）に関する件 ・出席者　　１８名（委任状提出者を含む）
２　雇用支援事業 (1)若年者雇用安定・確保事業	(1)「県内企業ガイドブック」を作成、配布 ・長崎、諫早地区で 6，900 部発行 ・島原地区では、ホームページ上で企業掲載 (2)新規学卒県内就職者の就職激励会を開催 ・長崎、諫早、島原、福江地区で開催　474 名 (3)新規大学等卒業予定者及びＵターンの合同企業説明会・面談会を開催 ・長崎、佐世保、諫早、大村で開催　参加　148 社　991 名 (4)高校卒業予定者の合同企業面接会を開催 ・長崎、佐世保地区で開催　参加　54 社　567 名 (5)企業の人事担当者を対象とした研修を実施 ・長崎（同和研修会）、諫早（公正採用選考に係る研修）、大村(企業と教師の懇談会)で開催　　参加　245 名 ・雇用問題講演会（雇用に関する諸問題）長崎地区で開催 参加　55 名 (6)若年労働者職場定着のためのセミナー、研修、相互交流会を開催及び若年労働者に対する研修 ・長崎、大村、島原、福江地区で開催　参加者 225 名
(2)高齢者支援事業	(1)高齢者雇用支援月間事業（10 月） 「長崎県高年齢者・障害者雇用支援のつどい」 (長崎県、長崎県中小企業団体中央会と共催)

	平成21年10月28日　長崎ブリックホール　参加者　190名 高年齢者雇用開発コンテスト入賞企業伝達表彰　１社 記念講演 テーマ「母として企業家としてだれもが人生の主役！輝いて生きよう」 講　師　（有）みかん山プロダクション 代　表　辻　イト子　氏 (2)高年齢者雇用促進のための情報誌等作成・配布 ・会報第８号及び情報誌「雇用支援ながさき」第９号を作成 ・作成部数　合計2,000部　・会員事業所、関係機関へ配布
(3)障害者支援事業	(1)障害者雇用支援月間事業（９月） 「長崎県高年齢者・障害者雇用支援のつどい」 (長崎県、長崎県中小企業団体中央会と共催) 平成21年10月28日　長崎ブリックホール　参加者　190名 障害者雇用優良事業所表彰　知事4社、協会長5社 優秀勤労障害者表彰　知事12名、協会長14名 障害者雇用優良事業所等表彰全国表彰式 厚生労働大臣表彰者等紹介　２社・2名 長崎県障害者技能競技大会･金賞受賞者紹介　5名 体験発表 「障害者雇用の取組について」 長崎部品株式会社 代表取締役 浅沼利治氏 (2)長崎県障害者技能競技大会を開催（長崎県と共催） 日時　平成21年7月12日(日) 場所　長崎県立長崎高等技術専門校 競技種目　家具6名、ﾜｰﾄﾞﾌﾟﾛｾｯｻｰ7名、ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ2名、ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽ3名、喫茶ｻｰﾋﾞｽ28名　計46名 (3)障害者就職面接会を開催（労働局、ハローワーク等と共催） 県南会場　平成21年9月18日　19社321名 県北会場　平成21年9月29日　19社209名 県央会場　平成22年2月　9日　14社145名
３　関係機関との連携	会議・行事等への参加 (1)高齢者関係 「70歳まで働ける企業創出事業推進会議」 「地域団塊世代雇用支援求職活動支援書普及活用会議」 「シニア就業支援連絡会議」 「雇用関係各種助成金説明会」 (2)障害者関係 「職業安定機関との連絡会議」、「長崎地域障害者雇用連絡会議」「精神障害者雇用支援連絡協議会」、「障害者職業紹介担当者研修会議」、「能力開発研究委員会」「福祉のトップセミナーｉｎ雲仙2009」、「県産業人材課との打合会議」、「特別支援学校高等部進路

	指導主事会議」、「障害者就業・生活支援センター推薦法人審査会議」、「精神障害者職業自立等啓発事業実行委員会」、「長崎県就労支援ネットワーク構築事業連携会議」、「手をつなぐ親の会全国大会(大村大会)」 (3)その他 「大学等合同企業面談会」
４　協会組織の充実	(1) 3 部門による業務検討会議の開催（12 回） (2)「協会案内」、「協会会報（雇用支援ながさき）」を発行 ・「長崎県雇用支援協会ご案内」を作成配布（1,000 部） ・「７０歳まで働ける企業取組事例集」の発行（1,200 部） ・「障害者雇用情報誌」、「障害者雇用啓発情報誌」の発行（1,200 部） (3)会員拡大 事業所、各種団体等の訪問、各種会議等を活用して会員の拡大を図った。 ・事業所訪問等件数 高齢者関係 347 社 障害者関係 197 社 ・「協会案内」の紙面を利用し、入会案内を行った。 ・ホームページにて、直接入会手続きができるよう改善した。

【 受　託　事　業 】

1.　高年齢者の雇用の安定･確保に関する事業

事業項目	実施状況
1 事業主に対する相談・援助事業	
(1)　高年齢者雇用アドバイザーによる相談・援助	(1) 高年齢者雇用アドバイザー　8 名委嘱 うち、70 歳雇用支援アドバイザー6 名 (2) 高年齢者雇用アドバイザー会議　4 回開催 (3) 高年齢者雇用アドバイザーによる継続雇用についての相談・援助　550 件
＊ 取組の評価	＊ 特定月（10 月）に実施した相談・援助を行った事業所に対して 2 月にアンケートにより相談･援助の効果を調査した結果、 ・雇用管理の改善を実施した　7 件 ・雇用管理の改善に向けて具体的な取組等を検討している　18 件 ・課題の整理や社内の理解が前進した　21 件 ・取組、理解は進んでいない　5 件 となっており、取組の効果があった。
① 企業診断システムの活用	企業診断システム活用　39 件 ・職場改善　4 件 ・人件費・賃金　3 件 ・健康管理　23 件 ・教育訓練　6 件 ・雇用管理　2 件 ・ 仕事能力把握　1 件
② 企画立案の支援	企画立案支援件数　9 件
＊ 取組の評価	＊ 企画書を提案した企業において具体的な定年の引き上げ等の進展があったかどうかについて、1 年経過後に結果を確認することにしている。 なお､20 年度に実施した企画立案に係る改善を実施した事業所は５０％であった。
③ 職場活性化研修事業	職場活性化研修の開催　9 回　107 人 ・長崎地区　3 回　54 人　・諫早地区　2 回　23 人 ・佐世保地区　4 回　30 人
＊取組の評価	＊特定月（10 月、11 月）に実施した 3 事業所の職場活性化研修に参加した従業員に対するアンケートによる研修の効果を調査した結果、3 事業所とも 100％の有用度であった。また、事業主からも「不良品の発生が少なくなるなど、職場全体の活性化に繋がった」との言葉を頂いた。
(2)専門職員による相談・支援	(1) 継続雇用推進インストラクター　2 名委嘱 (2) 相談・援助件数　97 件

２　研修・講習・セミナーの開催事業 (1) 高年齢者雇用管理研修	・　長崎地区　　2 回　67 社　74 名 ・　対馬地区　　1 回　13 社　13 名 ・　佐世保地区　1 回　44 社　53 名 合　計　4 回　124 社　140 名
＊取組の評価	＊全ての研修会で参加者にアンケートを実施した結果、有用度は 93．3%であり、研修の効果はあった。 なお、「景気低迷から定年延長等は難しい」、「延長より若年者を雇用したい」などの意見もあった。
(2) 高年齢者雇用推進者講習	・　長崎地区　　1 回　50 社　51 名 ・　佐世保地区　2 回　29 社　32 名 ・　諫早地区　　1 回　15 社　16 名 ・　西海地区　　1 回　17 社　19 名 ・　島原地区　　1 回　13 社　13 名 ・　五島地区　　1 回　44 社　47 名 合　計　7 回　168 社　178 名
＊取組の評価	＊全ての研修会で参加者にアンケートを実施した結果、有用度は 94．9%であり研修の効果はあったものの、対象事業所規模を 100 人以下に絞ったこともあり参加者が目標の半分程度少なく、出席率の見通しの甘さがあった。
３　広報・啓発事業 高年齢者雇用支援月間における諸事業の実施 (1)「長崎県高年齢者・障害者雇用支援のつどい」の開催	平成 21 年 10 月 28 日 長崎ブリックホール(長崎県、長崎県中小企業団体中央会と共催) 参加者　190 名
第１部	障害者関係表彰式を実施 障害者雇用事業所から体験発表 上記の内容については、障害者関係参照 「高年齢者雇用開発コンテスト」の入賞事業所紹介 「高年齢者雇用フェスタ２００９」においての入賞事業所 １社紹介　白山陶器株式会社
第２部	記念講演「70 歳まで働ける企業」創出事業 演題 「母として企業家としてだれもが、人生の主役！輝いて生きよう」 講師 有限会社　みかん山プロダクション代表　辻　イト子氏
＊取組の評価	＊参加者にアンケートを実施し 79 名の方からの回答を得た結果、有用度は 97．0%であり、開催の効果はあった。 なお、意見として「行政上層部の出席や市町の参加が少ない」、

	「時間があれば、表彰される方の励みにもなるので表彰事由も述べて欲しい」等の意見があった。
４　関係機関との連携強化 (独)高齢・障害者雇用支援機構、職業安定機関、長崎県、事業主団体等との連携及び事業の円滑な運営	(1) 行政機関との連携 ・ 労働局職業対策課との連絡会議開催（年４回） ・ 県雇用労政課等との連携会議開催（年４回） ・ 各公共職業安定所との連絡会議開催 (2) 関係団体等との連絡会議 ・ 経済団体等情報交換会議出席 ・ 長崎県高年齢者雇用推進委員会出席 ・地域団塊世代雇用支援事業「求職活動支援普及活動会議」出席 ・長崎地域シニア就業支援連絡会議出席
５　情報収集・作成・提供の事業 高年齢者の継続雇用を進めるための各種情報誌等を作成配布	(1) 次の情報誌を作成、会員事業所・関係機関・会議等で配布 ・ 協会報「雇用支援ながさき８号」　1,000 部作成・配布 ・ 協会報「雇用支援ながさき９号」　1,000 部作成・配布 ・「７０歳いきいき企業１００選」　100 部配布 ・「７０歳雇用先進事例集」　100 部配布 ・「７０歳まで働ける企業」取組事例集　1000 部作成・配布 (2) 高年齢者雇用情報コーナーの充実 (3) コンピュータシステムによる企業事例情報の収集・提供
６　助成金の支給事務 (1) 高年齢者の継続雇用促進と雇用就業の場の拡大のため、リーフレット、チラシ等の作成・配布及び関係機関の広報誌や新聞等を活用した周知 (2) 申請受理事案の適正処理及び助成金制度の有効活用	(1) 高年齢者継続雇用推進のための助成金の周知広報 ・ 協会報、研修、講習会、パンフレット等により広報 (2) 事業主説明会の開催 ・ 長崎、佐世保、諫早、大村、島原、北松、離島地区 計 29 回　出席者　1，589 人 (3) 助成金の支給実績 ・ 継続雇用定着促進助成金 支給決定件数　255 件　1 億 7,899 万円 ・ 高年齢者等共同就業機会創出助成金 資格決定件数　2 件 ・ 定年引上げ等奨励金 支給決定件数　131 件　9,745 万円
７　高齢期雇用就業支援業務 (1) 労働者が高齢期における職業生活設計を行うことを容易にするため、在職者を中心とした中高年齢者に対し必要な助言・指導 (2) 事業主による再就職援助、退職準備の促進	(1) 在職中高年齢者等を対象とする事業 ・ セミナー、講習会の開催 ・ 職業生活設計セミナー 開催回数　73 回　2,470 人 （うち、出張セミナー 38 回、土日夜間セミナー 20 回） ・ 受講者との交流会 実施回数　5 回　234 人

＊取組の評価	・ セカンドキャリアサポーターによる実体験セミナー 実施回数　6 回　　259 人 ＊開催した全てのセミナー参加者にアンケートを実施した結果、94,7%の有用度でありセミナー開催の効果はあったが、個別企業でのセミナー開催が前年度より少なく 18 回（前年度 23 回）に留まったことから、在職者の割合が 22．4%と低下した。 　なお、22 年度も引き続き開催して欲しいとの意見が多く聞かれた。 (2)　セカンドキャリア情報マップの発行 ・ 発行回数　　1 回　　500 部

２．　障害者の雇用の安定･確保に関する事業

事 業 項 目	実　施　状　況
１ 障害者雇用納付金・調整金等関係業務	
(1)　障害者雇用納付金等関係業務	
①納付金申告対象事業所	76 社
・　納付事業所	35 件　　48,450,000 円
・　０申告事業所	13 社
・　調整金受給事業所	27 社　　66,379,500 円
・　特別調整金受給事業所	1 社　　63,000 円
②　報奨金受給	46 社　　80,787,000 円
(2)　雇用納付金事務説明会の開催	(1)長崎地区　　2 回　　31 社 (2)佐世保地区　　2 回　　15 社 (3)諫早地区　　2 回　　25 社
(3)　職業安定機関との連絡会議	４月 14 日、5 月 27 日,3 月 26 日に長崎市で開催
(4)　助成金関係業務	
①　適正・的確な審査と早期処理	適正・的確な助成金の審査と早期処理に努めました。 支給件数　472 件　　174,559,898 円 うち介助等助成金のうち業務遂行援助者の配置 325 件　　36,725,450 円
②　助成金制度の周知	地方自治体、関係機関及び各種会議等において広報
③　助成金制度説明会の開催	長崎、佐世保、諫早、大村、島原、北松、離島地区 計 33 回　合計出席者 1,647 社
２ 障害者職域拡大等調査研究事業	
(1)障害者雇用促進会議の開催	長崎障害者職業センターとの共催で開催 平成 21 年 8 月 6 日　長崎県農協会館 参加者 27 名
(2)障害者雇用リファレンスサービスのための雇用事例の収集･提供	(1)モデル事例の収集　3 件 (2)モデル事例の提供 136 件 (3)障害者雇用アドバイザー等による相談・援助 526 件
(3)研究成果等の普及	障害者雇用情報誌「障害者の職域拡大のために」1,200 部作成・配布
３　障害者雇用管理等講習事業	
(1)障害者生活相談員資格認定講習	（1）平成 21 年 10 月 18～19 日　長崎県農協会館 受講・資格取得者　　51 名 （2）平成 22 年 1 月 27~28 日　佐世保労働福祉センター 受講･資格取得者　　26 名
＊取組の評価	＊2 回の講習会参加者にアンケートを実施した結果、有用度は 98．7%であり効果はあった。 なお、長崎会場､佐世保会場でも時間が足りない、もう一日増えてもかまわないなどの積極的な意見があった。
(2)障害者雇用促進講習	(1)平成 21 年 10 月 28 日　長崎ブリックホール （長崎県高年齢者・障害者雇用促進のつどいと同時開催） 参加者　　157 名

(3)障害者雇用推進者講習

第２部	長崎部品株式会社 代表取締役 浅沼　利治 氏 第２部は記念講演 上記内容については、高齢者関係参照 ＊つどい開催の評価については、高年齢者関係参照
(2)事業主との連携による啓発	「障害者就業支援施設と職場見学会」を開催 平成 22 年 1 月 19 日　県央・県南地域事業所対象 参加者　　19 名 見学施設･事業所 ・協業組合ホームドライ長崎（諫早市） ・就労継続A型事業所　味彩花（雲仙市） ・長崎能力開発センター（雲仙市） ・　農事組合法人吾妻しいたけ生産組合（雲仙市）
＊取組の評価	＊参加者にアンケートを実施した結果、「他業界の雇用状況や現場の方の話を聞くことができて良かった」との声が多く、有用度も 94．1%と効果があった。
(3)障害者技能競技大会の開催	長崎県と共催により第３１回長崎県大会を開催 日時　　平成 21 年 7 月 12 日(日) 場所　　長崎県立長崎高等技術専門校 競技種目　家具 6 名、ﾜｰﾄﾞﾌﾟﾛｾｯｻ 7 名、ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ 2 名、ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽ 3 名、喫茶ｻｰﾋﾞｽ 28 名　　計 46 名
＊取組の評価	＊参加者にアンケートを実施した結果、有用度は 91．2%であり評価できるものの、競技に対する公平感に不満の意見があった。
(4)情報誌の発行	障害者雇用啓発情報誌「ながさき雇用の広場」1,200 部、障害者雇用情報誌「障害者の職域拡大のために」1,200 部（再掲）を作成・配布
(5)障害者雇用促進月間ポスター原画展の開催及び就労支援機器貸出事業の広報	(1)養護学校等を訪問し原画展への出展を依頼 絵画　24 点、写真 6 点の応募 (2)「雇用促進のつどい」会場において､優秀作品及び県内応募者の絵画等を展示
＊取組の評価	＊展示スペースが確保できたことから、多くの方に見ていただき､取組の成果があった。 (3)各種講習会等において就労支援機器貸出事業を広報
(6)障害者雇用促進に関する情報の収集、提供	「働く広場」、「障害者の雇用の現状」、「障害者の雇用支援のために」、「各種助成金のごあんない」等冊子、リーフレットを配布